

記者発表				
月/日(曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤルイン)	発表者名 (担当者)	その他配布先
10月16日(水) 14:50	県立考古博物館 埋蔵文化財課	079(437)5595	副館長兼総務部長 川由 伸一 (埋蔵文化財課長 鐵 英記)	中播磨 県民センター

さいむらいせき
才村遺跡(姫路市広畑区才)の発掘調査成果と現地説明会について

内 容

一般県道広畑青山線社会資本整備総合交付金事業に伴って、兵庫県教育委員会は(公財)兵庫県まちづくり技術センターに委託して、才村遺跡の発掘調査を進めています。

調査の結果、古墳時代から中世にかけての集落跡が見つかっています。調査成果を広く県民に公開するため、現地説明会を開催します。

【調査成果】

別紙才村遺跡調査成果の概要のとおり

【現地説明会】

日時：令和元年10月20日(日) 13:30～15:00

場所：才村遺跡発掘調査現場(姫路市広畑区才)

〈現地説明会にかかる問い合わせ先〉

才村遺跡発掘調査現場事務所

担当 西口圭介技術専門員、乗本愛実臨時的専門職員

TEL 079-238-0234 (平日 12:10～13:00、17:00～18:00)

〈遺跡の内容にかかる問い合わせ先〉

(公財)兵庫県まちづくり技術センター

埋蔵文化財調査部調査第2課長 篠宮 正

TEL 079-437-5561 (平日 9:00～17:30)

兵庫県立考古博物館埋蔵文化財課長 鐵 英記

TEL 079-437-5595 (平日 9:00～17:30)

才村遺跡調査成果の概要

- 1 遺跡名 才村遺跡（さいむらいせき）
- 2 遺跡の種類 集落遺跡
- 3 遺跡の時代 古墳時代～中世
- 4 所在地 姫路市広畑区才
- 5 調査面積 3, 436 m²（この内、今回の発表は南半部の約1,500 m²分）
- 6 調査期間 令和元年8月9日～令和2年1月29日（予定）
- 7 調査原因 一般県道広畑青山線社会資本整備総合交付事業
- 8 調査主体 兵庫県教育委員会
- 9 調査機関 （公財）兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
担当 西口圭介技術専門員、乗本愛実臨時的専門職員

10 調査の概要

- ① 才村遺跡は、夢前川右岸の平野部に立地する遺跡です。
- ② 500基を超える中世の柱穴が検出され、多数の掘立柱建物があったと考えられます。
その他に、石組井戸2基・石敷火葬跡1基などが検出されています。
- ③ 調査区の一部では、平面が方形で大型の柱穴が見つかり、特徴から古代の建物跡や井戸が存在すると考えられます。
- ④ 上層からは平安時代から鎌倉時代にかけての須恵器杯、土師器皿、緑釉陶器椀、中国産の白磁碗・青磁碗などが出土しています。
- ⑤ 特筆する遺物に硯があります。形が漢字の「風」の字に似ているので「風字硯」とも、中央に仕切りがあるところから「二面硯」とも呼ばれる平安時代前半の硯です。
- ⑥ 調査区の下層には古墳時代後期の竪穴住居跡が複数存在するとみられます。

11 まとめ

今回の調査で、中世の掘立柱建物が多数見つかかり、大規模な集落であったことが明らかになりました。風字硯の出土から、平安時代前半には字の読み書きができる人のいたこともわかります。

調査は継続しますが、建物跡のほか下層に古墳時代の竪穴住居跡があることが予想され、才地区の歴史を考えるうえで貴重な遺跡と考えられます。

才村遺跡発掘調査写真



ふうじけん
風字硯 (包含層出土)



古代の井戸 (遺物出土状況)



遺構掘削作業状況